

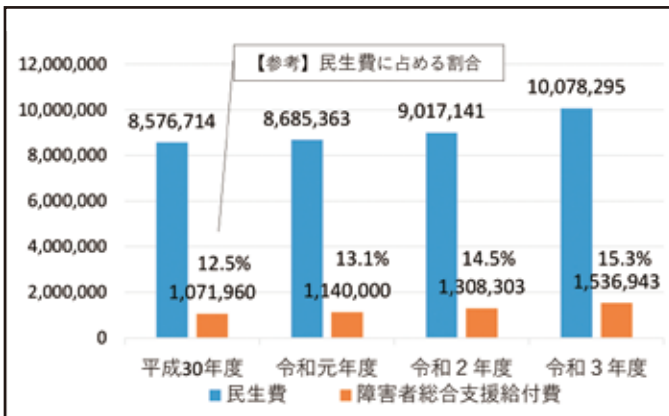
3期目に向け 市長の思いは

近藤 武議員



市の行く末を考えた事業が必要

市長



▲民生費及び障害者総合支援給付費(千円)

問 受益者負担金の経過は。

答 当該事業者と将来的な解決を目指し、今後

問 延滞金の徴収は、どのように行われたのか。

答 昨年11月、対象者にお詫びと納付のお願いをしに、全部課長ほか、総勢48名で戸別訪問を実施した。

下水道事業に関する諸問題は

問 今回の問題を組織としてどう受け止め、再発防止に向けてどのように取り組むのか。

答 法令の正確な理解やこれを遵守する意識、債権管理や業務改善の重要性に関する意識の欠如があった。

改めて不適切な取り扱いを反省するとともに、今後の信頼回復に努め、法令遵守、事務内容の再確認、関係部署の連携、情報共有を徹底し、再発防止に努めていく。

問 令和2年度、新型コロナウイルス感染症拡大対策の状況は。

答 総額84億711万円。市民生活や事業者支援、他にも各施設の感染症予防対策を実施し、現在、ワクチン接種体制確保事業の準備を進めている。

問 4年前の骨格予算との比較は。

答 民生費の伸びが大きい。障害者総合支援給付費扶助は、約6億5000万円伸びている。介護保険や後期高齢者医療保

問 令和2年度、新型コロナウイルス感染症拡大対策の状況は。

答 総額84億711万円。市民生活や事業者支援、他にも各施設の感染症予防対策を実施し、現在、ワクチン接種体制確保事業の準備を進めている。

問 骨格予算の考え方は。

答 児童発達支援センターの建設や道の駅再整備などの継続事業は、事業執行が遅れないように計上した。新型コロナウイルス感染症対策は、市の状況を見ながら、今年度同様、補正予算での対応を考えている。

険への繰出金も増加している。

問 次期市長選、3期目に向けて課題や思いは。

答 少子高齢化や人口減少に直面し、持続可能な市政運営は、さらに厳しさを増していく。事務事業を見直すことは当然のこと、今後の市の行く末を考えた事業を展開していく必要がある。

協議を進めていく。